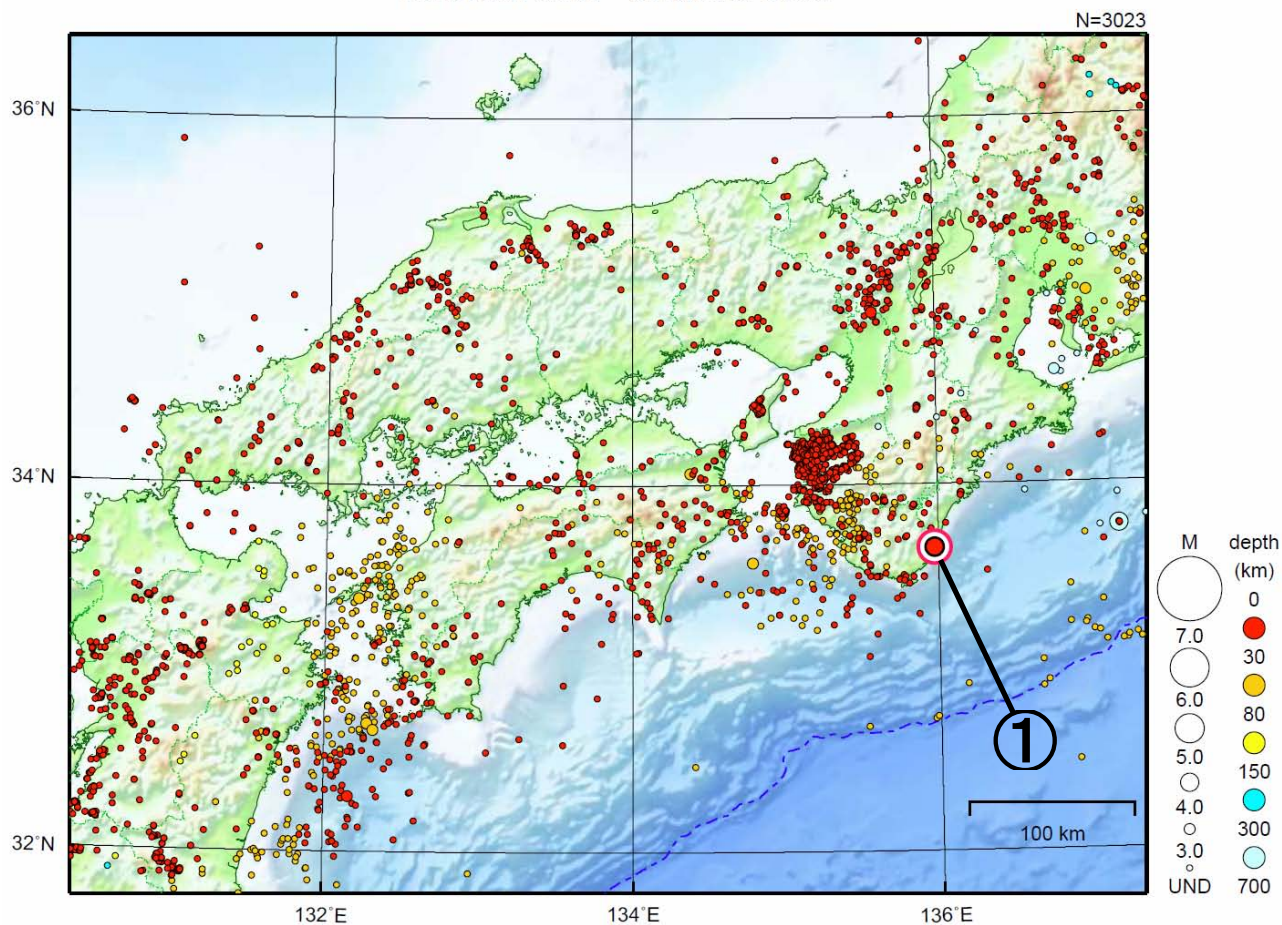


近畿・中国・四国地方

2013/08/01 00:00 ~ 2013/08/31 24:00



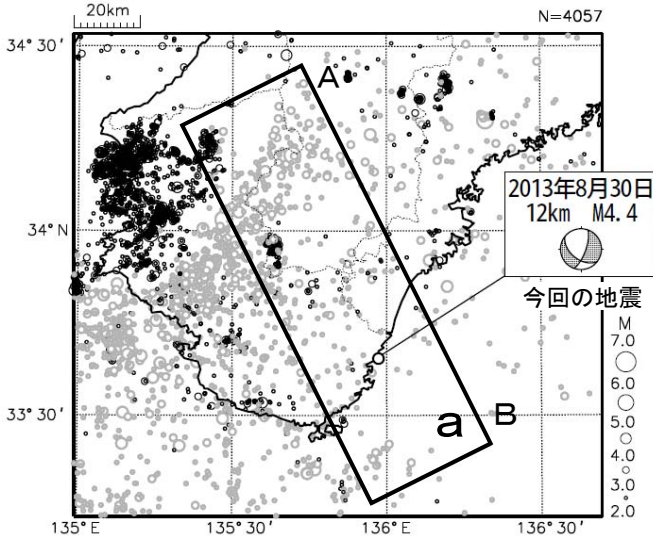
地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 8月30日に和歌山県南方沖でM4.4の地震（最大震度4）が発生した。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

8月30日 和歌山県南方沖の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2013年8月31日、
深さ0～80km、M 2.0)
深さ20km以浅の地震を濃く表示

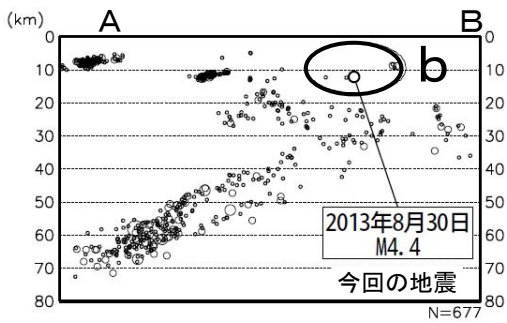


2013年8月30日17時32分に和歌山県南方沖の深さ12kmでM4.4の地震(最大震度4)が発生した。この地震は陸のプレートの地殻内で発生した。発震機構は北北西-南南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。この地震の余震活動は低調に推移している(8月31日現在)。今回の地震により、和歌山県那智勝浦町及び太地町で、役場の窓ガラスにヒビが入る等の被害が生じた(8月31日現在、和歌山県による)。

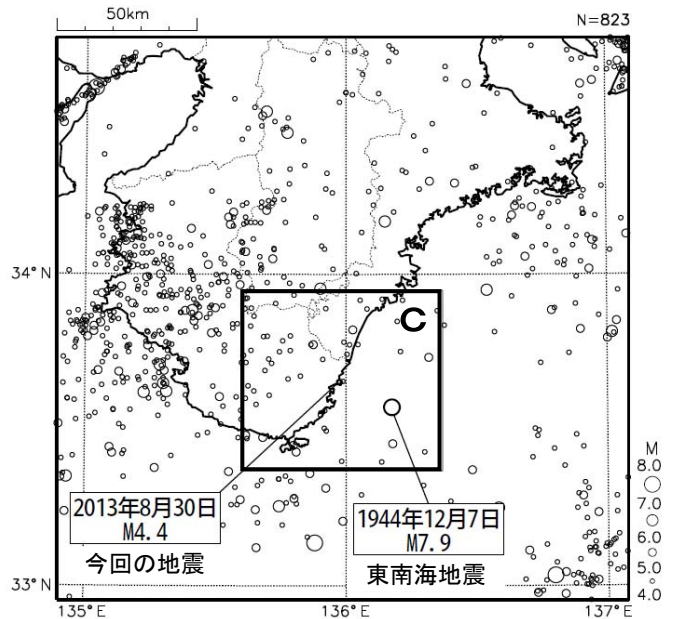
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)では、今回の地震までM4.0以上の地震は発生していなかった。

1923年1月以降の地震活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、1944年12月7日にフィリピン海プレートと陸のプレートの境界で、東南海地震(M7.9、最大震度6)が発生している。

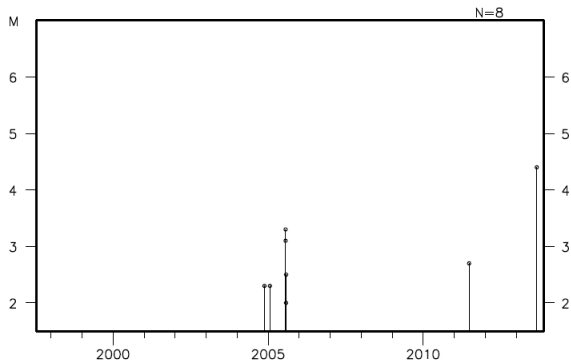
領域a内の断面図(A-B投影)



震央分布図
(1923年1月1日～2013年8月31日、
深さ0～100km、M 4.0)



領域b内のM-T図



領域c内のM-T図

